



# おづっこ



おもいを伝え合う子 つづける子 つよくしなやかな子 ころあたたかな子

## 梅雨を乗り切ろう！

毎日の天候が気になる季節となりました。沖縄地方では、5月21日に梅雨入りが発表されました。近畿地方の梅雨入りは、平年では6月6日頃ですので、間もなくだと思われま

す。長雨が続き肌寒い日もあれば、真夏かと思われるほど暑い日もあり、体調管理が難しい時期です。また、今年はおなかの具合が悪くなる感染症が多く見られますので、無理をせず、各自の体調に合わせて生活しましょう。



雨の日は仲良くトランプ遊び

さて、4月以降さまざまな場面でお話していますが、今年是小津小学校創立150周年の記念すべき年です。本校は、明治7年(1874年)に、久敬学校(杉江)、知道学校(山賀・森川原・欲賀)醴泉学校(大林・三宅・金森)の3校が開校したのが始まりです。

開校当時の記録によれば、いずれの学校も開設の費用は、地元の方々の出資(献金)によって賄われたそうです。以来、小津学区は「教育村」として誇りを持ち続け、地域・保護者・学校が力を合わせて学区の子どもの育成に力を注いできました。さらに、昭和37年(1962年)には、「小津学区教育後援会」が結成され、小学校区在住の皆様のご支援・ご協力を得て、物心両面にわたる教育後援をしていただき今日に至ります。地域の皆様の温かいご支援に支えられて、小津小学校での教育活動が続けられますことに感謝いたします。小津の伝統を守り継承しつつ、新しい歴史を刻んでいく礎となる1年にしたいと思っております。なお、6月5日には、全校児童で「150周年記念航空写真」の撮影を運動場で実施する予定です。



JRC委員会・ペットボトルキャップとフィルタフ回収中！

先日、本校のめざす子ども像である「心あたたかな子」を具現化するうれしいことが2つありましたので紹介します。1つめは、登校途中転んで泣いてしまった下級生を上級生が励まし、下級生のランドセルを持って登校する姿が見られました。2つめは、風の強い日の下校途中、帽子が飛ばされて川に落ちてしまい困っていた下級生を見て、自分が濡れてしまうのを顧みず川に入って拾った上級生の姿が見られました。いずれも、小さい子どもが困っていることに「気づき」、なんとか助けようと「考え」、即座に「実行」に移す「あたたかな心」が育っていると感じた出来事でした。